

# 令和5年度 本庄市 施政方針

「支えあいとチャレンジ」  
「世のため、後のため」  
未来につなぐ

本年3月に、市政運営の最上位計画である本庄市総合振興計画後期基本計画を策定しました。これまでの5年間の実績を踏まえながら、時代に即した施策の見直しを行うとともに、5年後さらには、10年後も見据え、新時代を担う人材の育成や未来への投資などの施策を掲げました。

引き続き、市の将来像である「あなたと活かす みんなで育む歴史と教育のまち 本庄」の実現に向けて、市民の皆さま、事業者の皆さま、各団体の皆さまと協働しながら市政のさらなる発展に取り組んでまいります。

「世のため、後のため」、本市の明るい未来を見据え、誰もが感動と生きがいを共有できる笑

顔と力あふれるまちづくりに「心して」取り組んでまいります。

**行政経営に関する基本的考え方**

「支えあいとチャレンジ」を旗印に、子育て支援の充実やバリアフリーのまちづくりなど、市民生活の安定と市民の皆さまの安全・安心を最優先に、誰もが活躍でき、誰ひとり取り残さないまちづくりを進めます。また、未来を見据えた基盤づくりを、多様な財源確保に取り組みながら進めるとともに、ゼロカーボンシティ実現にも努めてまいります。

特に本年は、「和」を市政の土台とし、市政の諸課題に対して最少の経費で最大の効果を挙げ

るよう、しっかりと議したうえで物事を決め、主体性を持ったうえで人との調和を図りながら行動に移し、市民の皆さまから信頼される行政経営に努めてまいります。

### 予算編成の基本的考え方

本市の財政状況は、歳入の根幹をなす市税において企業収益の持ち直しなどによる伸びが見込まれますが、歳出では少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増加のほか、集中豪雨などの災害対策、ウイズコロナを見据えたまちづくりや学校施設の大規模改修など、経費の大きな増加を見込んでおります。持続可能な財政運営を行うた



め、事務事業の見直しなどによる歳出の抑制や、負担の平準化を踏まえた適正な基金の活用を図り、将来の負担が過大とならないよう努めてまいります。

新たな総合振興計画後期基本計画に基づきながら本市の喫緊の課題に対応するため、優先的・重点的に取り組む4つの重点施策として「子育て」、「共生」、「環境」、「賑わい」を掲げ、積極的に施策を実施してまいります。

本庄市長

吉田信解

予算総額  
**528億6,375万円**  
(前年度と比べ、  
**22億7,439万円増**)

## 令和5年度 本庄市 予算

### 会計別予算

区分	予算額	増減率	
一般会計	303億9,200万円	5.4%	
特別会計	国民健康保険特別会計	79億8,459万円	0.1%
	介護保険特別会計	66億313万円	4.3%
	後期高齢者医療特別会計	10億6,448万円	10.1%
特別会計計	156億5,220万円	2.5%	
公営企業会計	水道事業会計	26億6,843万円	3.9%
	下水道事業会計	41億5,112万円	6.5%
公営企業会計計	68億1,955万円	5.5%	
<b>合計</b>	<b>528億6,375万円</b>	<b>4.5%</b>	

※公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計）の予算額は、収益的支出額及び資本的支出額の合計額を記載しています。

### 市民1人当たり\*が負担する市税

**14万6,718円**

固定資産税	6万5,580円	市たばこ税	7,533円
市民税	6万1,267円	軽自動車税	3,498円
都市計画税	8,840円		

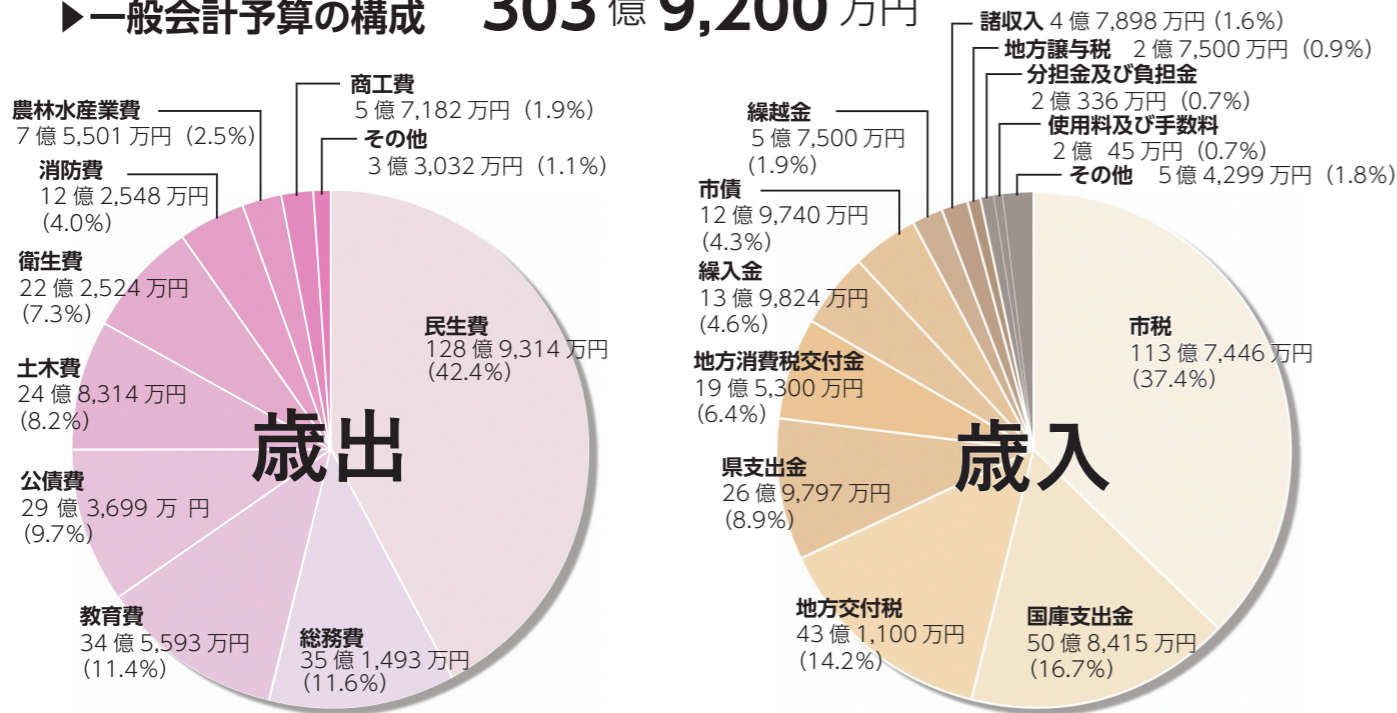
### 市民1人当たり\*に使われるお金

**39万2,023円**

民生費	16万6,307円	衛生費	2万8,703円
総務費	4万5,339円	消防費	1万5,807円
教育費	4万4,578円	農林水産業費	9,739円
公債費	3万7,884円	商工費	7,376円
土木費	3万2,030円	その他	4,260円

※令和5年1月1日現在の人口（77,526人）で計算。

### ▶一般会計予算の構成 303億9,200万円



※構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。